

様式(第M-2号)

修士論文様式

- 規格は、A4判とする。
- 論文は、和文又は英文のいずれかとし、原則として横書きの左綴りのものを必要部数提出すること。
- 表紙には、次の事項を記入すること。

修 士 論 文  
見 本

題 目

健康社会システム研究科

専攻

氏 名

様式(第M-1号)

指導教員  
承認印

平成 年 月 日

健康社会システム研究科長 殿

平 成  
健 康 社 会 シ ス テ ム 研 究 科  
見 本

専攻

学籍番号

氏 名

印

修 士 論 文 等

東北文化学園大学修士課程及び健康社会システム研究科修士学位授与審査申合せ事項により、  
修士論文等の下記予定題目を提出しますので、審査をお願いいたします。  
併せて審査委員の選出をお願いいたします。

記

予定論文等題目 (和文には英文を、英文には和文併記)

指導教員  
承認印

平成 年 月 日

健康社会システム研究科長 殿

平成 年度入学

健康社会システム研究科

専攻

学籍番号

氏名

印

研究成果審査願

東北文化学園大学学位規程及び健康社会システム研究科学位授与審査申合せ事項により、  
研究成果の予定研究題目を提出しますので、併せて審査委員の選出をお願いいたします。

予定研究題目 (和文には英文を、英文には和文併記)

# 見本

修士論文等要旨

提出者	氏名	専攻
修士論文等 題目		

- (注)
- 規格は、A4判とする。
  - 和文で約800字とする。

様式(第M-6号)

研究成果要旨

提出者	氏名	専攻
題目名		

# 見本

- (注) 1 規格は、A4判とする。  
2 和文で約800字とする。

様式(第M-5号)

研究成果様式

- 規格は、A4判を基本とし、他研究成果に応じた適切な規格とする。
- 研究成果に用いる言語は、和文又は英文のいずれかとする。
- 表紙には、次の事項を記入すること。

# 見本

題目

研究成果

健康社会システム研究科

専攻

氏名

様式(第M-8号)

平成 年 月 日

健康社会システム研究科長 殿

平成 年度入学

健康社会システム研究科

# 見

専攻

号

氏名

印

研究成果題目変更届

下記のとおり研究成果の題目を変更しますので、届け出ます。

修士論文等題目変更届

下記のとおり修士論文等の題目を変更しますので、届け出ます。

新題目名

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

旧題目名

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

指導教員 氏名 \_\_\_\_\_ 印

様式(第M-7号)

平成 年 月 日

健康社会システム研究科長 殿

平成 年度入学

健康社会システム研究科

# 見

専攻

号

氏名

印

修士論文等題目変更届

下記のとおり修士論文等の題目を変更しますので、届け出ます。

新題目名

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

旧題目名

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

指導教員 氏名 \_\_\_\_\_ 印

(第M-10号)

平成 年 月 日

健康社会システム研究科教授会 殿

修士論文等審査委員  
(職名) (氏名)

主 査 印  
副 査 印  
副 査 印  
副 査 印

修士論文等審査及び最終試験結果報告書

修士論文等審査及び最終試験を終了しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

学生氏名	平成 年度入学・学籍番号
健康社会システム研究科	専攻
修士論文等題目 (和文には英文を、英文には和文を併記)	
修士論文等の合否	最終試験の合否

様式(第M-9号)

平成 年 月 日

健康社会システム研究科教授会 殿

健康社会システム研究科  
研究科長 印

修士論文等審査委員(職名)推薦名簿

下記修士論文等の審査委員(候補)とおり推薦します。

(職名) (氏名)

主 査  
副 査  
副 査  
副 査

見 本

記

学生氏名	平成 年度入学・学籍番号
健康社会システム研究科	専攻
修士論文等題目 (和文には英文を、英文には和文を併記)	

修士論文等審査結果要旨

修士論文等題目	
専攻・氏名	
<h1>見 本</h1>	

主査 \_\_\_\_\_ 印

※この書式は大学院 様式（第M-10号）添付用です。